

経済的理由による就学困難 市内の高校生、 学生の实情は

高野 昇

(問) 経済危機、雇用破壊で全国で「高校の学費が払えなくなった」「入学を断念した」などの事態が広がったが、市内の实情はどうか。教育資金

利子補給金の引き上げなど、就学支援事業の拡充が必要ではないか。

(答) 教育部長 経済的理由で高校への入学を断念したということは、中学校での教育相談で、平成21年3月の卒業生では無いということです。

教育資金利子補給は、平成20年度13件の利子補給を行いました。利子補給金の引き上げなど事業の拡充については、現在は2万円を限度に利子補給していますが、今後大幅に金利が上昇した場合には見直しを検討してまいります。

◆榎戸地区の排水路整備を

(問) 排水路下流の住民の方から、排水路の汚水と汚泥の滞留を「何とかしてほしい」との要望をお聞きしています。

また、市への要望も出しているとのことです。市として、地元の皆さんと協議しながら改善策を検討中とのことです。市の財政的な手当てや国などの補助制度も活用し、早期に整備する必要があるのでは。

(答) 市民生活部長 平成19年度から進めてきております国や県の補助を受けて、地域で行う共同活動に交付金が支給される「農地・水・環境保全向上対策事業」を榎戸地区において実施することで説明会を開催しました。

吉川駅北口ロータリー 混雑緩和策を

遠藤 義法

(問) 路線バスの新設や増発、タクシーの待機、一般車の送迎等で朝夕のロータリー内は大変混雑しています。駅前広場の拡幅が困難な中、タクシープールやバス停の見直しなどで緩和策を講じるべきである。

(答) 市長 平成17年に路線バスの再編に合わせてロータリー

の改修を実施し、マイカー送迎を減らす努力をしてきた。引き続きマイカーからバス路線への転換を促し、計画している新駅に期待する。

◆指定管理者制度募集の基本姿勢を問う

(問) 6月1日、おあしす、図書館などの募集要項が発表された。①募集要項の基本的考えと熟慮した点。②委託する5カ所の人員配置とサービス内容。③指定管理費の上限額1億8千万円余の項目別内訳と人件費について伺います。

を図ること。募集は、経費をあらかじめ明示する方法を採用した。人員配置は、応募者の提案と選定委員会が判断していく。人件費の割合は委託費上限額の55%を見込んでいます。

(問) 人件費で約5千万円削減としているが、職員12名はおあしすから本庁などへ移動するだけで削減にはならない。市全体の正確な削減額、サービス内容などを出さないと導入が適正かの判断ができない。

(答) 政策室長 人件費の総体については、現時点での積算はしていない。

「婚活」のすすめ

安田 真也

(問) 少子化、晩婚化の要因についての所見と当市での取り組みは。

(答) 市長 要因については個々の結婚観や社会状況等様々な要因が重なっているものと考える。当市では昭和58年より商工会で結婚相談事業を行っている。

(問) 群馬県や東京都品川区の

ように自治体で「婚活（結婚活動）」の支援を行うところが増えてきているが、他自治体の事例把握について。

(答) 市長 県内で自治体自身が行っているところもあるが、多くは社会福祉協議会が行っている。吉川市のように商工会が行っているケースは2団体。

(問) 少子化、晩婚化対策と諸産業や各家庭の後継者問題解消に「婚活」は有効と考えるかがか。

(答) 市長 「婚活」は一つの方法と考えるが、国を挙げて総合的に対応すべきものと考え

(問) 「商工会」に何らかの支援ができないか。

(答) 健康福祉部長 過去、結婚相談事業に支援をしたことはなかったが、今後、実情や課題を聞き研究したうえで、出来る限り支援していきたい。

(問) 5市1町の枠組みで「婚活」支援ができないものか。

(答) 政策室長 東南部都市連絡調整会議において、議員より提案があったというお話しをさせていただきます。



駅北口ロータリー